



スノーボードやスキーをはじめとするウィンタースポーツは、雪質の変化やシーズン短縮といった気候変動の影響に直面しています。こうした状況に対して、スノーボードメーカーであるBurton社は、将来もスノーボードを楽しめるよう、環境保全に責任ある対応を果たそうとしています。製品の製造には従来、たくさんのエネルギーと資源、化学物質を必要としますが、同社では環境に優しいエネルギーや素材への転換、資源の循環や余剰資材の見直しなど、未来の雪山と地球を守るためにさまざまな取り組みを行っています。

円山動物園にも、ホッキョクグマなど気候変動により生息を脅かされている極域の動物がいます。そうした動物と向き合いながら、私たちの暮らしと気候や生態系の関りや、消費者と企業の責任・役割を考えていきます。

10/18 土

13:00~15:30

会場：札幌市円山動物園

参加費：無料（別途動物園入園料が必要です）

定員：30名（先着順、要申込）

申込：札幌市円山動物園HPもしくは
右下のQRコードよりお申込みください
(締切：10/15)

内容

12:50~

○受付（エゾシカ・オオカミ舎）

13:00~

○趣旨説明

○園内ガイドツアー（ホッキョクグマ館）

○話題提供

「スノーボードブランドの責任と、
冬と雪を未来につなぐために」

ゲスト：坂井 健人さん
(Burton Flagship Sapporo ストアマネージャー)

○参加者・ゲスト意見交換

ゲスト



坂井健人（43歳）岩手県出身。幼少期から祖父が営む民宿を手伝い、自然とスキーを始める。中学でスノーボードに出会い魅了され、以降選手・インストラクター・販売など幅広く活動。その後Burtonへ入社し、2019年からBurton Sapporo ストアマネージャーとして冬と雪に寄り添う人生を送っている。

